



1 大切なもの

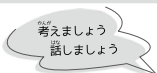
この活動は、みんなが笑顔になって、「今日もみんなに会えてよかったな。今日も楽しい活動がしたいな」と思えば、それでいいと思います。また、いろいろなやり方があると思います。教材に書かれているように、同時に見せあっても楽しいですし、1人ずつ見せていってもいいと思います。この活動をする「財布やクレジットカード、スマホ」を見せる参加者もいます。「スマホ以外でお願いします」というルールにしても構いません。そこは自由です。大切にしてほしいのは、「説明」をしっかり聴くことです。ゆっくり話したり、うまく説明できない参加者がいても、肯定的な気持ちで話を聴き合う雰囲気をつくっていきましょう。

2 標識クイズ

世界にはさまざまな標識があります。安全のために守らなくてはならないルールを示したり、ちょっとした情報を示しているものがあります。全員で一斉に考えてもいいですし、小グループに分けて考えても構いません。正解をすぐに伝えてもいいですし、正解を伝える前にどうしてそう考えたのか伝えあっても構いません。

3 世界・日本のルール

【読みましょう】以降では、市民としての権利について取り上げ、考え、対話していきます。ここでは、市民として守らなくてはならないちょっと変わったルールについて取り上げます。参加者の人数がある程度いる場合には、小グループに分けて活動してもいいと思います。グループ活動のあとに全体共有することを考えると、ミニホワイトボードに、紹介したいルールを書いてもらうといいかもしれません。発表するときにも目で確認できるのでわかりやすくなります。



1から4の問いは、絶対的な「正解」がある問いではありません。是非とも、サポーターを含めた全員で対話的に考えていってください。1から4の問いのすべてをしっかりと対話的に考えるとかなりの時間がかかると思われます。また、すべての問いを考えるかどうかは、各教室の状況に合わせて判断してください。また、待つことを大切にしながら、サポートしてください。以下の情報は4を除けば、サポートサイトにも載せています。

1 参考サイト (サポートサイトにも載せています)




東京書籍「EduTownSDGs」

<https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-6.html>




※わかりやすい日本語で書いています。むずかしい漢字にルビがふってあります。

 UNICEF (ユニセフ) 「ユニセフの主な活動分野 | 水と衛生」
https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act01_03_water.html



※グラフが載っています。

3 参考サイト


 Ethical Choice 「識字率とは？日本の識字率が100%ではない理由と世界のランキング」
<https://myethicalchoice.com/journal/sustainable/literacy-rate/>



  ワールド・ビジョン・ジャパン 「世界の識字率 最低は15%！原因とワールド・ビジョンの取り組み」
https://www.worldvision.jp/children/education_03.html


4 参考サイト

「報道の自由度ランキング」は毎年更新されます。ですから、Web 検索で最新の情報を得るようにしてください。

 【2022年最新】報道の自由度ランキング 日本の順位と世界の状況
<https://elemnist.com/article/2111>



  日本の国力の衰退をあらわにした「報道の自由」ランキング71位の衝撃
<https://webronza.asahi.com/national/articles/2022050900002.html>

 NHK NEWS WEB 「報道の自由度 日本 世界71位 “大企業の影響力 自己検閲促す”」(2022年5月4日)
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220504/k10013610921000.html>



いっしょに /
学 び 合 い ま し ょ う

1 グループで考えて、発表しましょう。

この活動は、小グループで行ったほうが良いと思います。まず最初にしっかりと状況の説明と5つの荷物(権利)の説明を行ってください。ここがとても大切です。参加者同士が母語や日本語以外の共通言語で説明し合うことも肯定的に見守りましょう

2 この活動(1)をして、感じたこと、考えたことは何ですか。

まず、①の最初に落とす荷物を決める活動のみ行いましょう。ミニホワイトボードを各グループに渡し、発表する前に書き込んでもらうといいかもしれません。発表者は、だれでも構いません。サポーターが発表してもいいです。理由も話すよう促してください。

次に、②の最後に残す権利を決める活動を行います。これも同じように行ってください。発表も同じように行います。教材には載っていませんが、各グループが最後に残した権利に違いがある場合、活動参加者全員でどの権利を最後に残すか話し合いをしてみてもいいです。これは教室の状況や時間をみて判断してください。時間的に余裕があれば、2でこの活動をして感じたこと、考えたことを共有できると学びがより広がり、深くなっていくと思います。



活動のふり返りは、大切です。感じたこと、考えたことを人に話すことで、自分自身、意識化できます。また、ほかの参加者のふり返りを聴くことで、自分自身の学びが深くなることも多いです。共感的に聴く雰囲気を大切にしましょう。

※ふり返りの進め方などは、ユニット1に「まつお一口メモ」があります。あわせてご覧ください。